

# SUPERBIKE EXPRESS--

EXtra, EXpert and EXtreme

2018 All Japan Road Racing Championship Round 4  
SUPERBIKE RACE in SUGO

2018  
SUPERBIKE  
EXPRESS  
04



 **JSB 1000** QUALIFY to RACE1 OFFICIAL REPORT

## 中須賀が絶対王者ぶりを発揮し今季5勝目! 序盤トップを争った高橋巧が2位、野左根が3位

全日本ロードレース選手権は、今回のSUGOラウンドで4戦目を迎えた。第2戦鈴鹿、第3戦オートポリスとスーパーフォーミュラとの2&4レースが続いたこともあり、JSB1000クラス以外は、4月の開幕戦ツインリンクもてぎ以来、約2カ月振りのレースとなる。

今回のSUGOラウンドも2レース制で行われており、土曜日に公式予選とレース1、日曜日にレース2というスケジュール。最高峰のJSB1000クラスは、前回のオートポリスラウンドで中須賀克行の4連勝を渡辺一馬が止めたが、2週間前に行われた事前テストでは、中須賀が自身の持つコースレコードを大幅に上回る1分25秒950をマーク。これにチームメイトの野左根航汰も1分26秒フラットで続きヤマハファクトリーの2人が、3番手以下を約1秒も引き離す圧倒的な速さを見せていた。それだけに、今回も、この2人が今回のSUGOラウンドもリードして行くと思われた。

レースウィーク初日となった金曜日は、午前中はもつかつと思われた天気も、1本目から雨模様となり、それぞれの思惑が交錯する。土曜日は、朝から雲が覆い、気温も上がらず肌寒い一日となる。路面は、前日まで降っていた雨の影響でウエットからスタート。時折霧雨も舞い、スッキリ乾くことなくセッションは進んで行く。

MFJ CUP JP250選手権、J-GP3に続いて行われたJSB1000クラスの公式予選は、ウエットパッチが所々に残る路面コンディションで行われた。この難しいコンディションの中、中須賀は、1分26秒670と正式にコースレコードを更新。レース2のグリッドを決めるセカンドタイムでも1分26秒957をマークし、ダブルポールポジションを獲得。今シーズンは、ここまですべてポールポジションを獲る驚速振りを見せている。

レース1が始まるころにも霧雨が時折パラつくコンディション。ダミーグリッドを離れ、ウォームアップランで渡辺一樹、高橋裕紀、星野知也が転倒するアクシデントが発生。渡辺一樹と高橋裕紀は、再びグリッドに着くことができたが、星野はマシンのダメージが大きく、修復に時間がかかり、レースがスタートしてから3周目にピットアウトすることになってしまっていた。

25周で争われた決勝。好スタートを見せたのは、2番手グリッドの高橋巧。これに清成龍一、中須賀、高橋裕紀、加賀山就臣、津田拓也、渡辺一樹、渡辺一馬と続いて行く。オープニングラップは、清成が制し、中須賀、高橋巧と続き、高橋裕紀は、やや遅れて行く。健闘していた清成だったが、3周目に3番手に後退すると、トップ争いは、中須賀と高橋巧の一騎打ちと

なって行く。トップを走る中須賀は、霧雨が降る中、リスクを承知でペースアップし、高橋巧を突き放すと独走体制を築く。高橋巧も単独走行となり、2番手をキープ。その後方では、一時は8番手までポジションを下げている野左根が追い上げを見せ15周目には、3番手に浮上。これに呼応するように水野涼も順位を上げてくる。さらに後方では、予選でアクシデントに遭い、18番手グリッドから追い上げて来た秋吉が、渡辺一馬、清成とバトルを繰り広げる。

トップを走る中須賀は終始安定した走りを見せ、そのままゴール。今シーズン5勝目を挙げ、ポイントランキングでのリードを広げる結果となった。2位に高橋巧、3位に野左根航汰と続き表彰台が上がった。4位には、JSBルーキーの水野が入り自己最高位。満身創痍ながら追い上げのレースを見せた秋吉が5位。以下、渡辺一馬、清成、高橋裕紀、津田、渡辺一樹、加賀山と続いた。

レース1で表彰台が上がった3人が、レース2でもカギを握っている。中須賀の速さに高橋巧が、どこまで迫れるか? 野左根も序盤からペースを上げることができればトップ争いに絡んで来るだろう。コンディション次第では、他のライダーがトップ争いに加わってくる可能性もあるか!? レース2の行方に注目しよう!



**QUALIFY to RACE 1**  
 REPORT, INTERVIEW & RESULT

●6月16日(土) (25周)  
 天候:曇 コース:ドライ

**決勝Race1 正式結果表**

Pos No.	Name	Team	Machine	Laps	RaceTime	Delay
1	21 中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	25	36'35.909	153.183
2	1 高橋 巧	Team HRC	CBR1000RR SP2	25	36'41.439	5.53
3	5 野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	25	37'08.134	32.225
4	634 水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda	CBR1000RR SP2	25	37'19.405	43.496
5	090 秋吉 耕佑	au-テレルMotoUP RT	CBR1000RR SP2	25	37'25.327	49.418
6	11 渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	25	37'25.540	49.631
7	23 清成 龍一	MORIWAKI MOTUL RACING	CBR1000RR SP2	25	37'27.028	51.119
8	72 高橋 裕紀	MORIWAKI MOTUL RACING	CBR1000RR SP2	25	37'32.584	56.675
9	12 津田 拓也	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L8	25	37'34.285	58.376
10	26 渡辺 一樹	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L8	25	37'35.717	59.808
11	71 加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	25	37'35.721	59.812
12	14 中富 伸一	HiTMAN RCKOSHIEEN YAMAHA	YZF-R1	25	37'48.920	1'13.011
13	51 M Zaqhwani Zaidi	Honda AsiaDream	CBR1000RR SP2	25	38'01.851	1'25.942
14	7 濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	CBR1000RRSP2	25	38'05.941	1'30.032
15	25 生形 秀之	エスバルスドリームレーシング・IAI	GSX-R1000	24	36'43.640	1 Lap
16	31 津田 一磨	Team Baby Face	YZF-R1	24	37'09.324	1 Lap
17	34 岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-10RR	24	37'12.990	1 Lap
18	22 児玉 勇太	TEAM KODAMA	YZF-R1	24	37'37.769	1 Lap
19	37 須貝 義行	チームスガイレージングジャパン	RSV4 RF	24	37'40.180	1 Lap
20	32 中村 知雅	中村エンジン研究所	CBR1000RR	24	37'41.241	1 Lap
21	54 BRIAN KIM	TWO WHEEL KOREA SUPPLY	GSX-R1000R	24	37'41.493	1 Lap
22	53 高田 昌明	北海道サベダー	CBR-1000RR	23	36'49.069	2 Laps
23	46 星野 知也	STONE RT SYNCEDGE4413	S1000RR	21	37'38.843	4 Laps
24	15 松崎 克哉	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	18	27'22.721	7 Laps
----- 以上完走 -----						
35	近藤 湧也	JOYNET GBSレーシングYAMAHA	YZF-R1	17	25'45.701	8 Laps
70	清末 尚樹	チーム阪神ライディングスクール	ZX-10RR	11	16'59.106	14 Laps
20	日浦 大治朗	Honda Suzuka Racing Team	CBR1000RR SP2	1	2'03.098	24 Laps

参加台数:29台 出走台数:27台 完走台数:24台  
 ベストラップ: #21 中須賀 克行 1'26.805 23/25 155.003km/h

**RIDERS INTERVIEW**

**レース1:優勝/レース2:ポールポジション  
 #21 中須賀 克行  
 YAMAHA FACTORY RACING TEAM**

『天気も路面も不安定なコンディションだったので、トップを走りながらペースをつかむのが難しかったですね。霧雨が強くなってきたところで、ペースダウンすれば高橋巧選手も確実に着いてくると思ったので、ここが勝負だとリスクを承知でペースアップしました。1分27秒台で走っていたらリードを広げることができ、レース1を勝つことができたのでホッとしています。恐らく、レース2も表彰台に上がったメンバーでのバトルになると思うので、また勝てるように、しっかり集中して臨みます』

**レース1:2位  
 #1 高橋 巧  
 Team HRC**

『事前テストで思ったほどのペースを作れず、悩んでいる部分が多かったのですが、予選でセットを振ってみたら、ちょっとずつ光が見えて来ていました。レース2に向けてレース1で試しながら、ペースもある程度つかめていました。何とか中須賀選手に、ついて行きたかったのですが、一歩も二歩も足りず離されてしまいました。それでもレース終盤に走り方を変えたら、ペースを上げられたので収穫はありました。レース2では、もっと苦勞させられるように頑張ります』

**レース1:3位  
 #5 野左根 航汰  
 YAMAHA FACTORY RACING TEAM**

『事前テストは、とても調子がよく、タイムも出ていたのですが、レースウィークのコンディションにうまく合わせることができなかったことが、トップ2の2人との経験や引き出しの差になって表れたと思います。苦しいレースでしたが、その中で表彰台に上がることができたのは、よかったです。レース2では、さらに上でゴールできるように全力を尽くします』



**笠井悠太(INT)、西村硝(NAT)が優勝!**

全日本ロードレース選手権と併催のMFJカップJP250選手権第3戦の決勝レースは、雨の予選とは異なりドライとなった。予選3番手の斉藤魁、同2番手の横江竜司、同7番手から上げてきた笠井悠太らの集団がトップ争いを展開。終盤にトップを奪い返した笠井が逃げ切って優勝。最終ラップまで続いた2番手争いは笠井のチームメイト西村硝が制し、中沢寿寛は3位となった。



**決勝正式結果(12周/上位15位)**

●6月16日(土)天候/予選曇 ウェット・決勝曇 ドライ 出走26

Pos No	Cls.	Rider	Team	RaceTime
1	20	1 笠井 悠太	TEAM TEC-2	21'06.133
2	40	N 1 西村 硝	TEAM TEC-2	21'06.900
3	1	2 中沢 寿寛	i-FACTORY&Mガレージ	21'07.311
4	62	3 横江 竜司	MOTOTECH-R4ショップユニオン東北	21'07.921
5	90	2 斉藤 魁	テレル・MotoUPレーシング	21'08.228
6	31	N 3 横山 尚太	ガレージL8 RT Shop Union 東北	21'08.243
7	56	N 4 櫻井 芽依	キジマKISSレーシングチーム	21'14.620
8	23	1 4 砂辺 孝太	IDEA&Kurodaya	21'16.951
9	35	N 5 小椋 華恋	PROPOWER Asia DOGFIGHTR-YAMAHA	21'17.044
10	392	1 5 村瀬 健琉	ミニ テリー&カリ	21'17.446
11	5	N 6 家根谷 大晟	キジマKISSレーシングチーム	21'17.612
12	26	N 7 田中 敬秀	7CエムズホームCAC=NTR	21'23.529
13	11	1 6 豊島 智博	ライダーズサロン横浜	21'23.600
14	92	1 7 成田 彬人	Team HIRO	21'23.678
15	27	1 8 石井 千優	TONER千葉ボケハイコース+N-PLAN	21'24.460



Presented by  
**DUNLOP**

http://jp250.superbike.jp/



**ST 600**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW



## 岡本裕生、得意のSUGO でポールポジション!

決勝は得意のSUGOで  
結果を残したいと思います

ST600の公式予選はコースが徐々に乾いていく中、岡本裕生がセッション開始早々からトップタイムをマークする展開で始まった。岡本はその後も毎回毎にタイムを削り、3周目には早くも1分31秒776とその時点で33秒353で2番手の亀井雄大に1秒半以上の差を付けてトップをキープ。しかし、その後もアタックを続けるが6周目に転倒してしまう。その中で國峰琢磨も3周目に33秒041で2番手に浮上、上位陣には亀井、奥田教介、長尾健吾、上和田拓海、仲村優佑、南本宗一郎ら。

セッション終盤に向けてタイムも上がってくるが、岡本が3周目にマークしたトップタイムを更新するものは現れず、結局ポールポジションは岡本、2番手には最後に32秒258までタイムアップを果たした南本、3番手には32秒479で亀井、國峰も32秒台に入れたが4番手、終盤にジャンプアップした小山知良、上和田と続く。

**J-GP2**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW



## 岩戸亮介が今季初 ポールポジション!

決勝では落ち着いて、  
勝つことだけに集中したい

J-GP2の公式予選も気温が低く路面も難しいコンディションとなった。セッション序盤は伊藤勇樹が1分32秒242でトップ、岩戸亮介が32秒446、三原壮紫が32秒451、石塚健、岩崎哲朗と僅差で続く。

セッションが進むに連れて各ライダーともタイムアップしてくる中、岩戸が30秒751をマークトップを固める。さらに終盤に入ると石塚が30秒508、尾野弘樹も30秒937に入れ、関口太郎も30秒680をマークして順位を上げてくる。しかし、岩戸も最終周に30秒421をマークして再びトップに立ち、ポールポジションを決めた。

石塚、関口がフロントロウ、尾野、名越哲平が31秒276、作本輝介が31秒375で続いた。

**J-GP3**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW



## 太田虎之進、全日本初 ポールポジション!

ウエットでもドライでも  
どちらでも自信はあります

肌寒く濡れた路面となったJ-GP3クラスの公式予選。途中小雨もばパラつく状況となったが、コース上では中盤から終盤にかけて、激しいアタック合戦が繰り広げられた。セッション中盤、トップに立ったのは小室旭。岡崎静夏、高杉奈緒子、太田虎之進もこの段階で上位に進出して来る。アタックが激しくなったのは残り5分前後。序盤上位に付けていた藤井謙汰、菅原陸、中島元気、宇井陽一も続々とタイムを更新してくる。その中で太田が1分37秒606をマークしてベストを更新、トップに浮上してきた。トップを奪われた小室もタイムを更新するが、及ばず。さらに太田はチェッカーの周にも上げ、1分37秒606をマークして全日本初ポールポジションを決めた。2番手は小室が38秒110、3番手には最後のアタックで一気にタイムアップした福嶋佑斗が38秒691でここまでフロントロウ、岡崎、岡谷雄太、宇井と続く。



ポールポジション: 1分31秒776  
#51 岡本 裕生  
51ガレージ チームイワキ

『転んでしまったことが、自分の中では一番悔しいことですね。雨が降ってきてたので、濡れる前に早めにタイムを出すしかないと考えて、3周目にベストタイムが出て、その後も転ぶまで走ったんですが、クリアラップがとれず、結局転んでしまいました…。雨も強くなって来た周ですね。それがなければ、タイム的にはまだまだ上げられたと思ってます。今考えれば、落ち着くために一度ピットに戻ればよかった、と。ダメージはほとんどありませんので、決勝は去年も優勝しているSUGOで結果を残したいと思います』



ポールポジション: 1分30秒421  
#4 岩戸 亮介  
Team高武 RSC

『SUGOは走っていて凄く気持ちのよいコースですし、(ST600では)優勝もしていますので、得意なコースです。今日は思ったようなタイムまでは伸びなかったですが、結果的にポールポジションを取れたので、よかったです。タイム的にはテスト時のフィーリングから29秒台を視野に入れていました。SUGOまでのインターバルはミニバイクでトレーニングしていたんですが、それがこのSUGOにマッチした感じでした。開幕のもてぎ(3位)では悔しい思いもしているので、決勝では勝つことだけに集中したいと思います』



ポールポジション: 1分37秒606  
#30 太田 虎之進  
WJ-FACTORY

『全日本で4年目ですけど、ポールポジション獲得はよかった、やっととれたという気持ちで、ホッとしています。最初はレインで出て行って、(路面は)乾くだろうと予測してましたから、うまくそのあたりを切り替えることができて走れました。最後はドライ(スリックタイヤ)でした。それでコースに出た時にとっても良い感触だったので、これはイケると。決勝に向けては、落ち着いて焦らずに自分の走りを展開できたら、と考えています。ウエットでもドライでもどちらでも自信はあります』

# MFJ Superbike Round 4 SUPERBIKE RACE in SUGO 16 - 17 June 2018

# 公式予選結果

## JSB1000 公式予選 Race2 正式結果



●予選:天候:曇 路面/ウェット 出走29台  
●決勝スタート/13:25 (23周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	21	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'26.957
2	12	津田 拓也	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L8	1'28.125
3	1	高橋 巧	Team HRC	CBR1000RR SP2	1'28.130
4	23	清成 龍一	MORIWAKI MOTUL RACING	CBR1000RR SP2	1'28.311
5	26	渡辺 一樹	ヨシムラスズキMOTUL	GSX-R1000L8	1'28.313
6	72	高橋 裕紀	MORIWAKI MOTUL RACING	CBR1000RR SP2	1'28.360
7	11	渡辺 一馬	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	1'28.640
8	5	野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'28.666
9	634	水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda	CBR1000RR SP2	1'28.744
10	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'29.170
11	46	星野 知也	STONE RT SYNCEDGE4413	S1000RR	1'29.282
12	14	中富 伸一	HITMAN RCKOSHIEEN YAMAHA	YZF-R1	1'29.687
13	25	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング・IAI	GSX-R1000	1'30.047
14	20	日浦 大治朗	Honda Suzuki Racing Team	CBR1000RR SP2	1'30.091
15	7	濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	CBR1000RRSP2	1'30.483
16	35	近藤 湧也	JOYNET GBSレーシングYAMAHA	YZF-R1	1'30.489
17	51	M Zaqhwan Zaidi	Honda AsiaDream	CBR1000RR SP2	1'30.645
18	70	清末 尚樹	チーム阪神ライディングスクール	ZX-10RR	1'31.044
19	31	津田 一磨	Team Baby Face	YZF-R1	1'31.314
20	15	松崎 克哉	Kawasaki Team GREEN	ZX-10RR	1'31.331
21	34	岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-10RR	1'31.855
22	54	BRIAN KIM	TWO WHEEL KOREA SUPPLY	GSX-R1000R	1'32.599
23	090	秋吉 耕佑	au・テルルMotoUP RT	CBR1000RR SP2	1'32.966
24	32	中村 知雅	中村エンジン研究所	CBR1000RR	1'32.984
25	53	高田 昌明	北海道サベダー	CBR-1000RR	1'33.198
26	37	須貝 義行	チームスガイレーシングジャパン	RSV4 RF	1'33.463
27	22	児玉 勇太	TEAM KODAMA	YZF-R1	1'33.777
----- 以上予選通過 -----					
29		菊地 敦	TEAM・WILD☆HEART+GlassArcus	YZF-R1	1'35.457
44		樋口 耕太	H.L.O RACING	GSX-R1000L7	1'42.841

参加台数:29台 出走台数:29台  
赤旗中断 ①9:55:12 ~ 10:06:00 ②10:25:42 ~ 10:30:00 ③10:39:10 ~ 終了



●予選:天候:曇 路面/ドライ 出走32台  
●決勝スタート/14:55 (20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	51	岡本 裕生	51ガレージ チームイワキ	YZF-R6	1'31.776
2	9	南本 宗一郎	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	1'32.258
3	11	亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team	CBR600RR	1'32.479
4	55	國峰 峰磨	日本郵便 HondaDream	CBR600RR	1'32.713
5	230	小山 知良	日本郵便 HondaDream	CBR600RR	1'32.852
6	40	上和田 拓海	TEAM PLUSONE	YZF-R6	1'33.015
7	97	佐野 優人	BATTLE FACTORY	CBR600RR	1'33.150
8	16	長尾 健吾	善光会TEAMけんけん+BEE	YZF-R6	1'33.192
9	57	奥田 教介	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	1'33.222
10	98	佐野 勝人	TEAM VITALSPIRIT	CBR600RR	1'33.291
11	18	杉山 優輝	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	1'33.340
12	23	中村 豊	MOTOBUM	CBR600RR	1'33.355
13	14	仲村 優佑	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	1'33.500
14	52	関野 海斗	51ガレージ チームイワキ	YZF-R6	1'33.769
15	8	名越 公助	GBS YAMAHA マツエセブン忠男	YZF-R6	1'34.132
16	43	中山 耀介	TEAM SHOTA	YZF-R6	1'34.187
17	90	中村 龍之介	au・テルル MotoUP RT	CBR600RR	1'34.229
18	12	古山 颯太	伊藤レーシング	YZF-R6	1'34.241
19	28	松川 泰宏	MOTOBUM HONDA+SAI	CBR600RR	1'34.320
20	41	梅田 虎太郎	MOTOBUM HONDA_REVES	CBR600RR	1'34.457
21	45	丹羽 貴大	OZT Racing with YSP名古屋西	YZF-R6	1'34.560
22	99	渡部 裕貴	RT森のくまさん佐藤塾&ガレージL8	YZF-R6	1'34.682
23	71	上原 大輝	Mistress RT HARC-PRO.	CBR600RR	1'34.696
24	420	亀井 駿	日本郵便 HondaDream	CBR600RR	1'34.714
25	17	行村 和樹	TOHO Racing Club	CBR600RR	1'34.738
26	44	平野 ルナ	TEAM ENDLESS by SHANTI SSM	CBR600RR	1'35.705
27	36	櫻井 賢一	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	1'35.997
28	72	比企 徹	SPEED MASTER&RS-ITOH	ZX-6R	1'36.031
29	38	小山 葵	AKENO SPEED・YAMAHA	YZF-R6	1'36.338
30	34	宮脇 寿郎	ファイヤーワークス&T-PRO inc 保険職人	ZX-6R	1'36.420
31	60	芦名 秀美	teamTJC&MF 太平楽	ZX-6R	1'36.423
32	26	西嶋 修	チーム阪神ライディングスクール	ZX-6R	1'36.553
----- 以上予選通過 -----					

参加台数:32台 出走台数:32台  
予選通過基準タイム (108%) 1'39.545



●予選:天候:曇 路面/ウェット 出走22台  
●決勝スタート/10:30 (20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	30	太田 虎之進	WJ-FACTORY	NSF250R	1'37.606
2	71	小室 旭	Team P.MU 7C MIKUNI	NSF250R	1'38.110
3	36	福岡 佑斗	TEAM PLUSONE	NSF250R	1'38.691
4	15	岡崎 静夏	Kohara Racing Team	NSF250R	1'39.244
5	61	岡谷 雄太	MORIWAKI CLUB	NSF250R	1'39.249
6	41	宇井 陽一	41Planning	TR-004	1'39.442
7	16	高杉 奈緒子	41Planning	NSF250R	1'39.670
8	93	菅原 陸	RG NIWA with オーテック・スズカ	NSF250R	1'39.677
9	4	中島 元氣	TEAM SRS-Moto	NSF250R	1'39.723
10	090	藤井 謙太	au・テルルMotoUP RT	NSF250R	1'40.004
11	13	長谷川 聖	CLUB Y's & J	NSF250R	1'40.289
12	3	古市 右京	KTM・ASPIRATION RACING	RC250R	1'41.313
13	20	畑中 要	FTR・タイヤナビ・株式会社藤住宅	NSF250R	1'41.676
14	12	山本 恭裕	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	1'41.708
15	6	安村 武志	犬の乳産園.jp/プリミティブR.T	PRCS3d	1'41.935
16	46	山中 琉聖	テルル・ヤマナカウキョウRT	NSF250R	1'42.482
17	17	野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	1'42.723
18	45	鈴木 孝志	41Planning	NSF250R	1'43.945
19	19	白石 玲菜	Dreamline Team REINA	NSF250R	1'44.441
20	29	鈴木 大空翔	BATTLE FACTORY	NSF250R	1'44.749
----- 以上予選通過 -----					
34		村田 憲彦	CLUB Y's & J	NSF250R	1'46.358
32		檜山 拓実	WJ-FACTORY	NSF250R	計測出来ず

参加台数:22台 出走台数:22台  
予選通過基準タイム (108%) 1'45.987



●予選:天候:曇 路面/ウェット 出走19台  
●決勝スタート/11:40 (20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	4	岩井 亮介	Team高武 RSC	MD600	1'30.421
2	7	石塚 健	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	1'30.508
3	44	関口 太郎	SOX Team TARO PLUSONE	HP6	1'30.680
4	392	尾野 弘樹	ミクニ テリアードカリー	GSX-R600	1'30.937
5	634	名越 哲平	MuSASHi RT HARC-PRO.	HP6-q	1'31.276
6	16	作本 輝介	Team高武 RSC	MD600	1'31.375
7	12	大木 崇行	Kohara Racing Team	HP6	1'31.539
8	34	榎戸 育寛	Kohara Racing Team	KALEX	1'31.550
9	64	伊達 悠太	KIMA Racing	HP6	1'31.617
10	29	和田 留佳	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	1'31.704
11	70	岩崎 哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	ZX-6R	1'31.729
12	25	伊藤 勇樹	伊藤レーシング	YZF-R6	1'31.771
13	10	KUBO KEMINTH	伊藤レーシング	YZF-R6	1'31.894
14	71	三原 壮紫	STONE RT SYNCEDGE4413	HP6	1'31.965
15	36	徳留 真紀	マルマエPLUSONE	SPEED-UP	1'32.965
16	31	豊島 怜	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R6	1'33.460
17	30	阿部 恵斗	Webike チームノリックヤマハ	YN6	1'34.069
18	32	井手 翔太	HITMAN RCKOSHIEEN YAMAHA	YZF-R6	1'34.437
----- 以上予選通過 -----					
090		中村 修一郎	au・テルルMotoUP RT	KALEX	1'41.060

参加台数:19台 出走台数:19台  
予選通過基準タイム (108%) 1'37.779

### INFORMATION

## RIDE & DRIVE 全日本ロードレース& 全日本モトクロスを無料放送

MFJが管轄するロードレース、モトクロスの各全日本選手権シリーズ全戦が、無料BS放送のBS12(番組名「RIDE&DRIVE」)で、モーターサイクルスポーツバラエティとして放送! 放映日時は毎月最終金曜の21:30~22:00になりました。

★詳しい放映スケジュール等はファンサイトで!

《放映スケジュール》

12月の総集編まで毎月最終金曜の21:30~22:00に放送!!



## インターネットライブ中継&動画配信も充実!!



全日本ロードレース選手権は全戦・全クラスの予選・決勝をライブ配信! 今年からカメラ位置・アングルを充実、より迫力ある映像をお届けします。※通信環境により遅延配信となる場合もあります



YouTube「MFJ SUPERBIKE オフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>

